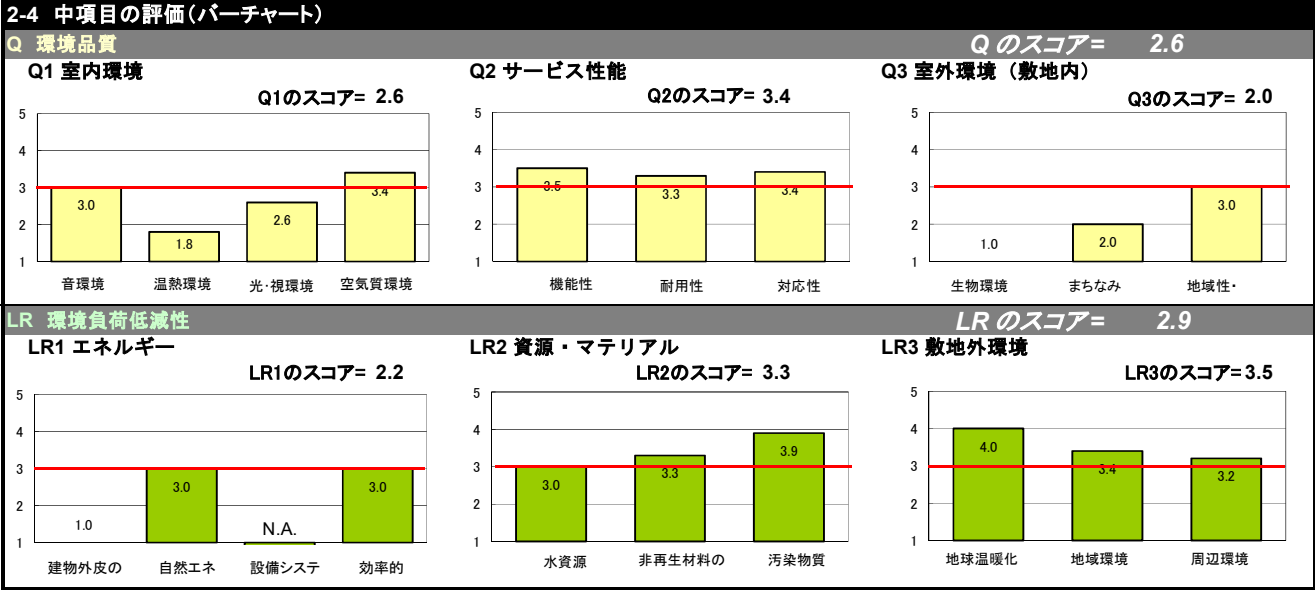
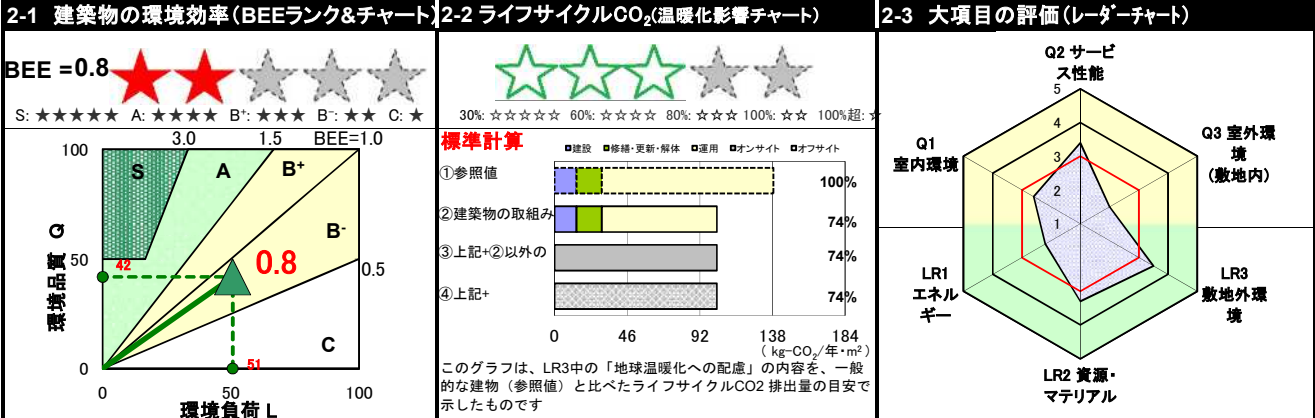


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ローランド株式会社浜松地区事業所再編計画	階数	地上3F
建設地	静岡県浜松市浜名区新都田1-106-6	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	718 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2024年9月4日
敷地面積	19,793 m ²	作成者	東洋建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	7,644 m ²	確認日	2024年9月5日
延床面積	19,589 m ²	確認者	東洋建設株式会社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	室内環境やサービス性能に配慮している。 ノンフロン断熱材を採用するなど環境に優しい建材を使用している。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	換気量を1.7倍に採用している。 喫煙の制御があり、非喫煙者が煙に曝されないように喫煙所を屋外に設置している。	Q3 室外環境 (敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー	特に無し。	LR3 敷地外環境 省エネルギー性能の確保に努めており、地球温暖化防止に配慮している。 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策を配慮している。
Q2 サービス性能	部品・部材の耐用年数や心理性・快適性が優れている。 空間のゆとりの確保に努めている。	
LR2 資源・マテリアル	部材の再利用可能性向上への取組みでは、LGS下地やOAフロアを採用している。 ノンフロン断熱材を採用している。	

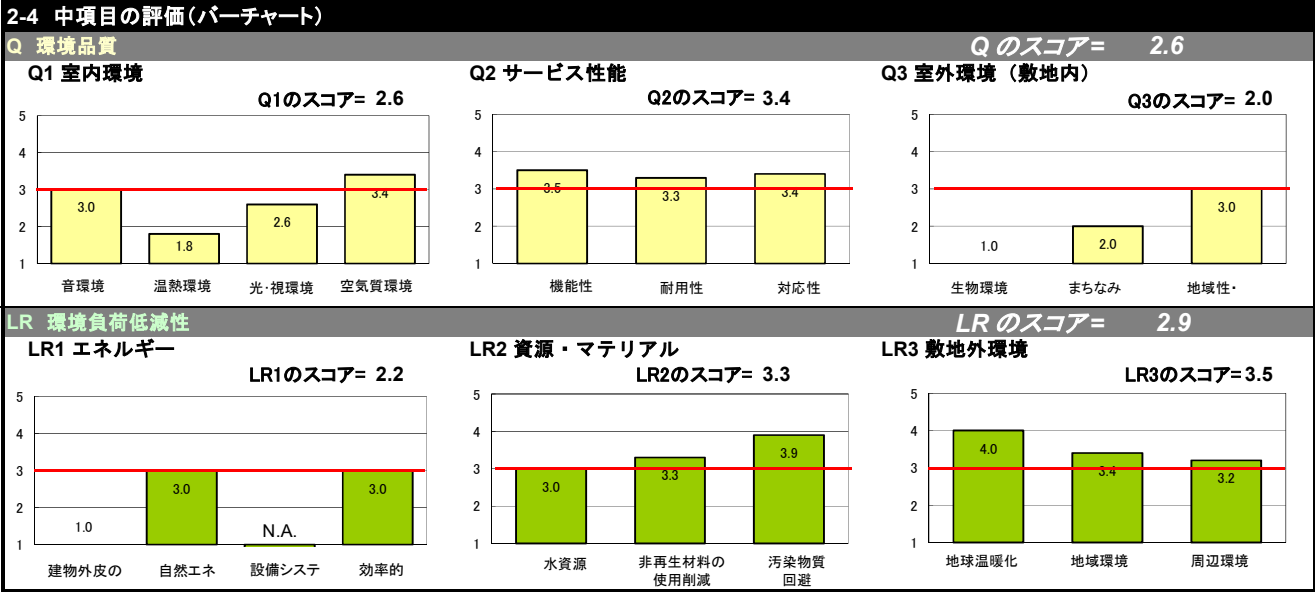
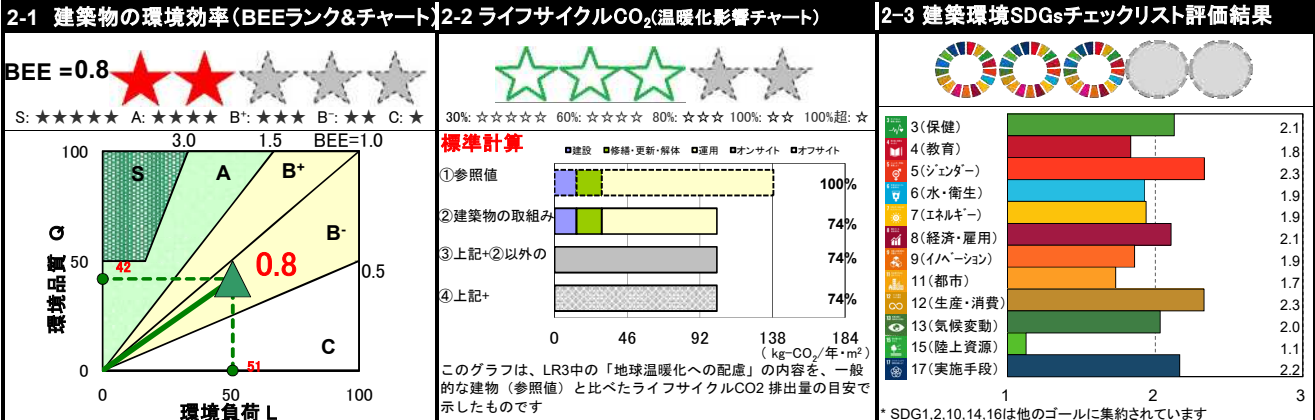
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ローランド株式会社浜松地区事業所再編計画	階数	地上3F
建設地	静岡県浜松市浜名区新都田1-106	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	718 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2024年9月4日
敷地面積	19,793 m ²	作成者	東洋建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	7,644 m ²	確認日	2024年9月5日
延床面積	19,589 m ²	確認者	東洋建設株式会社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合		
室内環境やサービス性能に配慮している。 ノンフロン断熱材を採用するなど環境に優しい建材を使用している。		
その他 特に無し。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
換気量を1.7倍に採用している。 喫煙の制御があり、非喫煙者が煙に曝されないように喫煙所を屋外に設置している。	部品・部材の耐用年数や心理性・快適性が優れている。 空間のゆとりの確保に努めている。	特に無し。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特に無し。	部材の再利用可能性向上への取組みでは、LGS下地やOAフロアを採用している。 ノンフロン断熱材を採用している。	省エネルギー性能の確保に努めており、地球温暖化防止に配慮している。 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策を配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要									
建物名称	(仮称)ローランド株式会社浜松地区事業所再編計画				BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
2. 重点項目への取組み度									
重点項目	得点※/満点		取組み度				評価		
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	2.7	/5					がんばろう		
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.1	/5					ふつう		
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.4	/5					ふつう		
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.4	/5					がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上		がんばろう 3 点未満	
3. 重点項目についての環境配慮概要									
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。					内訳対応項目				
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)					得点		2.7		
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④押出成形セメント板 60年 ④床:タイルカーペット 20年、壁:EP塗装 20年、天井:不燃積層石膏ボード 30年 ④ガルバリウム鋼板を採用 ④給水:VLP(B)給湯:SUS(C)排水:VP(B)				Q-1 2	1.7	2.1.2	①	外皮性能
					Q-1 3	3.0	3.1.3	②	昼光利用設備
						3.0	3.2.1	③	昼光制御
					Q-2 2	3.0	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
						5.0	2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
						5.0	2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
						4.0	2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔
						5.0	2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔
						3.0	2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)				Q-3 1	1.0		⑤	生物環境の保全と創出
				3	3.0		⑥	敷地内温熱環境の向上	
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用)				LR-1 1	1.0		⑦	建物外皮の熱負荷抑制
					2	3.0		⑧	自然エネルギー利用
					3	2.5		⑨	設備システムの高効率化
					4	3.0		⑩	モニタリング
						3.0		⑩	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫LGS地下、OAフロアを採用 ⑬PRTR法に該当しない建材種別が4つある ⑬ノンフロン断熱材を採用				LR-2 1	3.0		⑪	節水
						3.0	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
						3.0	1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
					2			⑫	材料使用量の削減
						3.0		⑫	既存建築躯体等の継続使用
						3.0		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
						3.0		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
						2.0		⑫	持続可能な森林から産出された木材
						5.0		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
					3	5.0		⑬	有害物質を含まない材料の使用
						3.2.1		⑬	消火剤
						4.0	3.2.2	⑬	断熱材
						3.0	3.2.3	⑬	冷媒
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率74%				LR-3 1	3.8		⑭	地球温暖化への配慮
					2	3.0		⑮	温熱環境悪化の改善
”災害に強いしずおか”の形成(Disaster)					得点		3.1		
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰自動水栓機器の採用、配管系統の区分、災害の蛇口設置				Q-2 2	3.0	2.1.1	⑯	耐震性
						3.0	2.1.2	⑯	免震・制振性能
						3.0	2.4.1	⑰	空調・換気設備
						4.0	2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
						3.0	2.4.3	⑰	電気設備
						3.0	2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
						3.0	2.4.5	⑰	通信・情報設備
	”しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)					得点		3.4	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑基準階(1階) 階高 3.9m以上 ㉒0.1<壁長さ比率<0.3				Q-2 1	3.0	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
					3	5.0	3.1.1	㉑	階高のゆとり
						4.0	3.1.2	㉑	空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮)				Q-3 3	3.0		㉒	地域性への配慮、快適性の向上
”緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)					得点		2.4		
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)				Q-3 1	1.0		⑤	生物環境の保全と創出
					2	2.0		㉓	まちなみ景観への配慮
					3	3.0		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)				LR-2 2	2.0		⑫	持続可能な森林から産出された木材
					LR-3 2	3.0		⑮	温熱環境悪化の改善